
オール仮面ライダー×その他 超スピンオフ劇場

ポケモV3

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オール仮面ライダー×その他 超スピノフ劇場

【Nコード】

N3865X

【作者名】

ポケモV3

【あらすじ】

ディケイド基本メンバー、昭和平成のライダー、W一家、NOV EL大戦組、そして東方！全部集めてスピノフ！基本思いつきのネタ達！カオスは増していくのか！？

No.001「今後の話」

全員「スピノフキター！」

CJ「えー、というわけで！」

シンジ「ようやく予告していたスピノフが出来ました！」

…で、それはいいんだけど…」

士「俺は手加減という言葉を破壊する」

ユウスケ「ちょ士お前マジで鬼畜！」

カズマ「チーズは元々鬼畜」

士「カズマお前後でぶん殴る」

ソウジ「皆、天堂屋直伝のおでんが出来たぞー」

FJ「わーい！いただきまーす！」

LT「あーもう！FJ、汁垂れてる！」

シンジ「…なんでまだ作者が出してないキャラまで出したんだ…？」
CJ「スピノフだし」

この他にもリイマジとか平成ライダー組とか霊夢とかいました

士「ちよつと待てー一番最後おかしいぞなんで霊夢がいるんだあああああああああ！」

霊夢「仕方が無いじゃない、作者があと二つほど作品作りたがってるし」

剣崎「なん…だと…!？」

始「剣崎、お前はナチュラルに会話に入りすぎだ」

嘘ではありません これについてはまた後で話します

シンジ「さて、どうせだし色々と話そうか」

CJ「そうだね、せっかくだし…」

剣崎「作者！新作について教えてくれ！」

橘「そうだ！俺達は出られるのか！？そうなのか!？」

ポケモ「お前ら落ち着け」

霊夢「(とというかスピントフでこういう話していいのかしら)」

ポケモ「大丈夫だ、問題ない」

霊夢「何貴方悟り!？」

ポケモ「気にするな」

士「さて次回作についてだが…」

ポケモ「タイトルとおおまかな内容は決まっている」

シンジ「そうなの？それじゃ早速…」

ポケモ「okok」

次回作は…これだ！」

『仮面ライダーブレイド〜RETURN OF RIDERS〜』

『東方仮面男〜仮面ライダー×東方』

剣組「よしこれで俺達の登場は確定だあああああああッ
！」

ポケモ「おおまかなストーリーは…」

- ・ 本編終了後の話
- ・ 1話目で奇跡の力降臨、始が人間に
- ・ アンデッドとはまた別の怪人を出そうと思ってる

始「…（歓喜）」

剣崎「よかったな始！」

霊夢「もう一つのほうは？」

ポケモ「こっちは…」

- ・ デイクイド基本メンバー＋リイマジが幻想入り
- ・ オリジナルキャラ登場
- ・ パルスィ＋オリキャラで幻想入り版地獄兄r y

士「よし、これで俺達も確定だな」

CJ「じゃまた次の話でー！」

No.001「今後の話」(後書き)

シンジ「次回もお楽しみに！」

カズマ「次回はどんなネタが出るかな!？」

CJ「さあ?」

№.002「シンジの悪魔の手料理」

LT「皆ーご飯出来たぞー」
全員「いただきまーす！」

FJ「旨ーい！やっぱりLTのご飯が一番！」
LT「そ、そうかな？でも天道さんとソウジさんには合わないよ…」
ソウジ「そんなことはないぞ。たっぷり愛情のこもっている料理に味も何もないからな。」

それに、ちゃんと美味しいぞ？」

天道「…確かに…美味しいな」

LT「あ、ありがとうございます！」

シンジ「料理作ってみたんだけど」

カズマ「へーどんなのかな…いただきまー…ッ!？」

うえああああああああああああああああああああ
ブシヤア…

HT「!?!?何か悲鳴と血が噴出す音が聞こえたんだけど」
ポーカ
ー中

パルスイ「リア充が死んだんでしょう、後ロイヤルストレートフラ
ツシユね」
？のRSF

剣崎「うおおおおおおおおおおいっ!?!」
自分の出され
て落ち込む

始「…」
後ジョーカーさえあればファイブカード出来た

カズマ「 リイマジではユウスケよりも硬い方だけど内部器官が常人

シンジ「あれええええええええええ！？何でカズマぶっ倒れたの！？」
CJ「うんそうだ…あごっ！？」

うわああああああああああああああああ

ウンメイノー ブシヤア…

HT「お前ら何してるんだああああああああああっ！？」

CT「お前こそいきなり駆け込むなドアホトリガー」 シンジの料理を廃棄処分

HT「orz」

シンジ「…で、俺の料理でカズマとCJが気絶したわけだけど…」

カズマ「 まだ起きない

CJ「 フラフラしてる

ソウジ「まず何を作ってたんだ？」

シンジ「…遊びで激辛ラーメンを…」

天道「…それで何を入れたんだ？」

シンジ「えーと…ハバネロと青とうがらしと赤とうがらしとラー油とレンさんに近づくクソ共の肉と

レンさんに触ったクソ共の体液とレンさんの周りをころころ

く男共の を

LT「OK、とりあえず落ち着こうか」

CJ（復帰）「…ヤンデレって怖い」

パルスィ「（色々な意味で気が合いそうね）」

ソウジ「落ち着いたところで普通にしょうゆラーメン作ってみようか」

シンジ「…はい」

シンジ「…」この時点では普通

天道「これはいい調子なんじゃないか…？」

カズマ「…普通のしょうゆラーメンだね…」

シンジ「レンさんに…」

CT「へ」

シンジ「近づく奴らは…」

ソウジ「まさか」

シンジ「死刑…」他色々投入

全員「うわあああああああああやっぱ駄目だったあああああああああああああ！？」

パルスィ「…」今度コンビ組もうかしら」

No.002「シンジの悪魔の手料理」(後書き)

カズマ「ゴホッ…次回も…ゴホッゴホッ…お楽しみに…うえあああ
あああああ」

ブシャアアアアア…

シンジ「貧弱だなあ」

ソウジ「…天罰を下そうか？」

No.003「スペックなんて生かせないもの」

CT「腕相撲しよう」

CJ「いきなりどうした？」

CT「腕相撲したい」

映司「それならやろうか。よしっ、本気だすぞー！」

CJ「Ready:！」

GX「おい！」

CT「ほいつ」 映司の手を机に叩きつける

映司「あだっ!?! 腕相撲は自信あったのに…」

シンジ「…CTってスペックどれくらいだっけ？」

カズマ「えーと、パンチ力は確か1.7t、キック力は3tでWではかなり低いほうだよ？」

CT「…そおい！」

オースプトティラコンボ（映司）「嘘おおおおおおおおおお
おおおおっ!?!」 また負ける

シンジ「…スペック詐欺だな」

カズマ「うん、ヤバイくらいにね」

士「なあ…マジでCTのスペックってどうなってるんだ？」

プトティラ圧倒してたけど」

GX「えーっとなー…」

No.003「スペックなんて生かせないもの」(後書き)

映司「次回もお楽しみにね！」

カズマ「スピントフは出来る限り毎日更新するよ！」

シンジ「一つ一つの話のボリュームには期待しないでね！」

№・004「初コラボ！スペック詐欺VS混沌神」(前書き)

CJ「作者の事情で遅くなってしまいました」

ストーリー』からお越しいただいた

神童永司さんとリ・イマジネーションアंकです！」

永司「よろしくお願ひします」

CJ「あ、コレお土産です。帰りに持ってってくださいね」

アंक「…！アイスの匂い…！」

CJ「さすがアंक。今回のお土産はアイス。」

『北海道十勝アイスクリームセット』だよ」

アंक「アイス！」

永司「まだ来たばかりかだし！後に取っておくべきだよ！」

アंक「…それもそうだな」

CT「そういえばうちの馬鹿（＝HT）が何か言ったみたいで」

永司「あ、大丈夫です。全然気にしてません」

アंक「（のわりには思い切り制裁してたよな）」

永司「（コア全部砕くぞ）」

アंक「（すいませんでした）」

HT（復帰）「…というか俺何もやってなry」

CJ「嘘をつくなお前の悲鳴聞こえたぞ」

永司「…」

HT「…すいませんでしたーッ！」 スタイリツシュ土下座

カズマ「無駄にスタイリツシュだ！何かむかつく！」

シンジ「…よし…これで完成…カズマに食わせてみよう…」

カズマ「ちよつと話がー！」

カズマ「うわああ何か嫌な予感がー！」

永司「随分楽しそうなところですね。」

CJ「まあ、皆で色々やってるので…」

CJ「あわわわ…これどつすんの…!？」

『トリガー！マキシマムドライブ！ ルナ！マキシマムドライブ！』

CT「兄貴プリズムビツカー借りるね」

X「!？何故に!？」 今回はここだけの登場

CT「いいから」

『サイクロン！ヒート！ルナ！ジヨオオオカアアアアアアアッ！
マキシマムドライブ!』

CT「…とりあえず落ち着いてくださいなああああああああああああ
ああああっ！」 トリガーエクスプロージョン+ビツカーファイナ
リユージョン（威力はオーデインのFV級）

永司「ぎゃああああああああああっ!？」 攻撃されて暴走
が止まる

全員「…スペック詐欺が勝ったと!？」

GX「…CTマジチート」

永司「有難うございました！お土産は帰ってアंकと食いますねー」

アंक「いいか！次はアイス+セルメダルにしろ！分かったな！」

永司「コア砕く」

アंक「すいませんでしたああああ！」

CJ「…帰ってったね」

CT「…アレ？おかしいんだけど？」

カズマ「何が？」

CT「いや、ここに置いといたはずの『シンジさんお手製の悪魔の

№・004「初コラボ！スペック詐欺VS混沌神」(後書き)

カイルさん、遅くなってすみません！
キャラが違ったりしたらすみません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3865x/>

オール仮面ライダー×その他 超スピンオフ劇場

2011年10月22日00時11分発行